



再興

ふるさと由良!!



謹賀新年



上野 諭 議長

あけましておめでとうございます。皆様には新しい年を迎えられ、心からお慶び申し上げます。平素は議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。昨年12月には、国政においても大きな政変がありました。

地方分権が進む中、地方自治法の改正により議会の権能も権限も進んでいます。

わが町においても、今年的重要課題として『保育所統合を含めた教育問題』『産業振興』『防災・減災対策』『高齢者福祉対策』『過疎化対策』などがあります。

議会としても、積極的な政策提言に努め、全力で取り組んで参ります。町民の皆様方には、今後とも一層のご協力をお願い申し上げます。申し上げるとともに、ご健勝・ご多幸を心からお祈り申し上げます。



神田 勉 副議長

明けましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。国の舵取りが大きく変貌する中で明日が見えにくい社会状況でありますが、私は常に町民目線で町の活性化に取り組みます。今後共ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



由良 守生 議員

明けましておめでとうございます。初当選から早や2年。残りの任期も2年となりました。公職というものが、これほどに重いものであると身にしみています。今年も心を締め上げてがんばりたいと思います。ご指導、よろしくお願いたします。



山名 実 議員

明けましておめでとうございます。皆様方には、健やかに明るい新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。本年も皆様にとりまして善き年となりますよう、お祈り申し上げます。今年も由良町のために精一杯頑張りますので、皆様方のご指導の程よろしくお願致します。



吉田ひとみ 議員

明けましておめでとうございます。今年も、議員3年目に入ります。これからも、安心安全の住み良い町づくりを、皆様と共に、一歩一歩進めて参りたいと思います。これからもご指導の程、お願申し上げます。



中村 森 議員

輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、スポーツの祭典ロンドン五輪で多くの感動をいただきました。年頭にあたり、由良町議会議員として初心を忘れず、老いも若きも健康で元気に暮らせる町づくりのため、一生懸命、誠実に頑張りますので皆様方のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願致します。



馬場 博文 議員

新年おめでとうございます。町民の皆様には新しい年を迎えられ心よりお慶び申し上げます。昨年は様々な出来事がありました。皆様方にはご支援ご協力を賜り誠に有難うございました。今年もより良い由良町を目指して、全力で活動してまいります。ご指導、ご鞭撻宜しくお願申し上げます。



藤田 富三 議員

新年おめでとうございます。昨年末の衆議院議員総選挙では国民の皆様は民主党政権を否とし自民党・公明党の政権を選択されました。結果、早速株式市場も反応しておりデフレを脱却すると期待しております。今年こそは皆様にとって、幸多い年でありませう心よりお祈り申し上げます。



玉置 一郎 議員

明けましておめでとうございます。昨年は、「壬辰(みずのえたつ)」今後の方向性が決まる年とも言われます。今年の干支は、「甲子(きのね)1984年」から30年の「癸巳(みずのとみ)」です。干支(60年周期)の極めて重要な中間点と言われ、新たな局面・転換点を迎える年になるそうです。皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。



川出 純 議員

新年おめでとうございます。昨年は、町内の地域の行事を見学させていただきました。由良町の良さを実感しました。秋祭りや盆踊りなどみなさんが行事のボランティアとして参加して、すこいエネルギーを感じています。本年も皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



2012年(平成24年)主な議会年表

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
8日	20日	1日	25日	27日	28日	20日	28日	6日	6日	30日	10日
消防団出初式(由良中学校成人式)(中央公民館)	地域活性化調査特別委員会・(県外視察(熊本県合志市・大分県佐賀県湯浅))	「産建厚生常任委員会」開催	「第1回 定例会」	(平成24年度一般会計・特別会計当初予算・条例改正「美浜町及び由良町指導主事共同設置の廃止、介護保険条例の一部改正」23年度一般会計・特別会計補正予算、固定資産評価委員会(選任など))	「全員協議会」(地域活性化調査特別委員会)開催	畑小学校開校式	由良小学校開校式	和歌山県知事要望御礼「知事室」(議長・副議長・各委員長・執行部)	由良町戦没者追悼法要(興国寺)	ゆらふるさとフェスティバル(白崎海洋公園内)	「地域活性化調査特別委員会」開催
国土交通省由良港湾御礼挨拶(神戸市・東京都)(議長・副議長・各委員長・執行部)	「議会運営委員会」開催	「第2回定例会」	(平成24年度一般会計補正予算、条例改正、専決処分承認、繰越明許費繰越計算書の承認など)	産建厚生常任委員会(町内企業視察)	総務文教常任委員会(町内小・中学校視察)	全員協議会(白崎海洋公園の今後について)	全員協議会(由良町の上下水道事業について)	産建厚生常任委員会(町単独工事視察)	県町村議会議長会(全議員研修会)(上富田町)	全国町村議長会広報研修会(東京都永田町)	日高郡議長会ゲートボール大会(日高川町美山トム)
「議会運営委員会」開催	「第3回定例会」	(平成24年度一般会計・特別会計補正予算、契約の締結・衣奈地区漁業集落環境整備事業衣奈クリンセンター建設工事請負契約の締結、健全化比率及び資金不足比率報告書、平成23年度一般会計・特別会計歳入歳出決算認定など)	「全員協議会」(総務文教常任委員会)「地域活性化調査特別委員会」開催	シニカヤックマラソン大会(由良港湾)	天皇・皇后両陛下主催「秋の園遊会」(赤坂御苑)(議長)	「産建厚生常任委員会」開催	由良町文化・スポーツ表彰授与式	第10回ゆらふれあいまつり	「老人招待旅行」南部ロイヤルホテル(由良地区)(議長)	「老人招待旅行」南部ロイヤルホテル(白崎・衣奈地区)(副議長)	産建厚生常任委員会(鳥取県三朝町・北栄町)
県町村議会議長会「委員長研修会(和歌山市)	「産建厚生常任委員会」開催	「議会運営委員会」開催	「第4回定例会」	(平成24年度一般会計・特別会計補正予算、専決処分の承認、町道の路線の認定、白崎海洋公園の指定管理者の指定、由良町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正、由良町教育委員会条例及び議会規則の一部改正、教育委員会委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦など)	「全員協議会」開催	「総務文教常任委員会」開催(講師について)	衆議院議員総選挙投票日				

全 議 員 協 議 会

「白崎海洋公園、指定管理について」

平成20年12月1日に施行された「新公益法人制度」により、平成25年4月1日から、現行の指定管理先の由良町観光公社から新たに(社)白崎観光プラットホームに引き継がれます。

経緯について

平成24年8月21日、一般公募要項に基づき募集、9団体から応募があり、現場説明等を経て2団体が出ました。その後、選定委員会で厳選に審議され、11月19日(社)白崎観光プラットホームに指定する旨、町長に答申されました。

問 今後の指定管理者については、どうなっているのか?

答 (参考) 3月31日、現在の観光公社との契約は切れます。今後については、(社)白崎観光プラットホームに指定管理します。

問 移行期間が必要と思われるが、その間、どこが管理するのか?

答 (町長) 3月まで、公社との契約があるので、その間に新たな指定管理者を引き継ぎを行います。

問 選定基準について説明を。

答 (参考) 町の観光行政を進める中で、由良町の各種団体とのタイアップが重要と考え選定しました。

問 指定管理先の業者が、由良町の各種団体とのタイアップが出来る業者であるのは理解できるが、経営状況が未知数なので今後の運営に心配を残す。

答 (副町長) 契約期間は、5年間です。当然、解約条項も入れていくべきと考えています。

問 今までは公園管理委託料として支払っていた分は、必要ないのか?

答 (町長) 必要ないとの事です。

問 ダイビング事業を展開する中で、今後、海域を拓ける事はあるのか?

答 (町長) 今までは、現公社の中でも議論がありました。新たな指定管理者と漁協との話し合いで決めていくと思うが、町としても協力します。

問 また、ある意味で漁業者の権利を守っていかなければならないと思っております。

答 (副町長) 現在、案内業務は、町が行っている状況です。将来的には、観光案内所として独立運営をして貰いたい。

問 今後、観光案内業務の拠点は、どうなるのか?

答 (副町長) 現在、案内業務は、町が行っている状況です。将来的には、観光案内所として独立運営をして貰いたい。

問 「統合保育所について」

答 (町長) 保育所の統合については、どうなのか?

答 (町長) 平成26年4月統合に向け進めています。運営方法は「公設民営の認定こども園」として考えています。募集要項を早く決定して公募していきます。

問 教育委員会を中心に「認定こども園」として、検討して頂くべきだと考えるか?

答 (町長) 保育所も幼稚園も保育内容については、あまり変わらないかと考えています。すこやかに健全な心を育てることが重要で、保育時間は長時間保育と短時間保育に分けて運営し、また、小中学校の教育目標の定めに沿って進めていきます。

問 民営にすれば、町の方針が行き届かないのではないのか?

答 (住民福祉課長) 今の現場で、どのような連携が必要なのか現状把握が必要だと考えています。子どもを体調・健康管理は保健師との連携が充分できています。保育所から小学校に就学した場合、何が足りないかを教育委員会に確認している所です。

問 建設予定の施設については、幼児教育先進地の状況を調査検討し反映させるべきではないか?

答 (上下水道課長) 施設設計に関しては、週に度、保育士の意見を聞いています。施設については用水路問題も地元協力が得られたので鉄骨2階建てで建設し、県の補助制度を申請して太陽光発電3,600万円、紀州材の使用3,500万円程度を考えています。

問 子どものしつけは家庭で親がするべきであり、保育所や小学校にゆだねるものではないが、共働き家庭が多く、子育て支援として保育サービスを上上げてもらいたい。

答 (住民福祉課長) 保育サービスについては、延長保育で7時頃まで見て欲しいとか、短時間保育の子ともども、長時間見て欲しい場合がある。保育料を上げないで欲しいといった要望も長時間見て欲しい場に当たります。保育サービスの向上は当然だと考えています。

本年4月から 白崎海洋公園の指定管理は

(社)白崎観光プラットホームに決定

平成24年 12月定例会 12月10日～14日開会



指定管理料は

ゼロ!!

問 選定理由の中で一番良かったポイントは何か?

答 (参考) 観光面でインターネットの充実に、季節ごとのイベントの開催、道の駅の管理、レストランの自社営業、また、商工会、観光協会とのタイアップをした観光行政に力を入れていくという提案が、他の団体よりも強いと感じられたためです。

一般会計補正予算

平成24年度一般会計、歳入歳出それぞれ38億650万円へ

12月10日から14日までの5日間の会期で開催されました。今回の定例会は、専決処分承認(衆議院議員総選挙に伴う歳入歳出予算の補正)と町道の路線認定について、由良町教育委員2名の任命について、人権擁護委員候補者の推薦1名について、白崎海洋公園の指定管理料についてなど、専決処分(報告)1件、議案13件が提案され慎重に審議の結果すべて可決・承認し、請願1件については継続審議となりました。また、一般質問は4名の議員が質問し質しました。

問 白崎海洋公園の管理者に(社)白崎観光プラットホームに至った経緯は?

答 (参考) 管理者選定委員会5名で慎重に審議し、決定しました。理由として、新たな事業提案で観光振興、産業や住民への波及効果を期待できます。また、施設の管理についても改善等、今以上に要望しています。

問 指定管理料なしでやっていけるのか? 契約内容はどのようになってくるのか?

答 (参考) 新たな事業展開・営業努力で運営していきます。指定管理料なしで以後、5年間の収支計画が提出されており、利益が上がりなかつたとしても、指定管理者の努力で運営を管理していただきたいと考えています。

問 白崎青少年の家や体験型修学旅行の誘致など、県との連携を強化して頂きたい。

答 (町長) (社)白崎観光プラットホームが「二元的にPRして集客」というのが基本的な考え方です。白崎青少年の家も、(社)白崎観光プラットホームの中に組み込んでいけたらと考えております。

公園に関しては、子ども達が遊べる遊具や、あずま屋を作り、都会から来た人の癒しの場として利用してもらえれば公園になれば良いと思っております。



一般会計

7,950万円増額補正

問 農作物鳥獣害防止施設資材費補助金は何をさしているのか?

答 (産業建設課長) 畑・中区で6工区を実施するものであり、トタン、防護柵等を実施します。

問 農業振興費で農業施設単独工事600万円は、どの工事か?

答 (産業建設課長) 中区の白倉パイプライン設置工事、延長610mです。3月末までの完成を目指しています。

問 児童福祉施設予算で、統合保育所に伴う水路移設工事費があるが説明を。

答 (上下水道課長) 旧畑小学校敷地内に用水路が通っている。4月までに移転、山側へ移設します。延長70m、350万円です。

公共下水道事業特別会計

4,661万円減額補正

問 公共下水道事業の減額補正についてお聞きしたい。

答 (上下水道課長) 本年度要望に對して、国庫補助金が26%の減額となつています。震災以来、毎年、国庫補助金が減額されていることから、工損調査10戸分と管渠工事、昨年度分と併せて1km以上の消化が遅れています。事業費が減額になると、事業の完成年度がもう1年、2年と延びてくる恐れがあります。

問 下水道事業の啓発活動と接続率はどうなっているか?

答 (上下水道課長) 各地区をまわり、訪問して接続の勧奨に伺っています。接続率は、畑・中区で85%、由良地区(横浜・南・阿戸・網代)で42%、江の駒区で10%、戸津井区で79%、三尾川区で77%、大引・神谷区で37%となっています。



●「保育・教育基本方針」を早急に協議し、長期的な子育て環境・子育て支援のプランを決める事が最優先であり、平成26年4月から公設民営を目指しているが、当面は、公設公営で運営しても良いのではないかと?

●統合保育所では、基本方針に沿った保育者の意識改革が必要。

●教育委員会を中心に、幼保・小・中学校の連携をすることが、就学後の良い状況に繋がる。

●施設については、幼児教育先進地の状況を早期に調査研究して、施設設計に反映させるべき。

『産建厚生常任委員会 認定子ども園 視察報告』

鳥取県 三朝町・北栄町「町立保育所統合に向けての調査」 (11月21日～22日)

三朝町 平成17年「保育所」について、「次世代を担う子ども達に主眼を置きつつ、分権時代に即した保育所のあり方の検討と統廃合、民間活力の導入など総合的な見直しを図る」という目標のもと、「少子化対策及び保育所施設等検討委員会」を立ち上げ、保育の質を確保する事と限られた財源を今以上に有効活用するために、民間活力を応用した「指定管理者制度」の導入方針を決定。現在、町内には公設公営の保育所が3所と公設民営の保育所1所の合計4保育所が存在している。今年4月、2保育所を統合し公設公営の新設「認定子ども園」を運営開始予定。子ども園の検討段階から教育委員会とは連携し、統合後は、教育委員会による計画訪問なども実施予定。幼児教育については、「保育園保育方針」と「幼稚園教育要領」の相違があまりないことから、3歳児以上は特色のある幼児教育を行っていく方針。町担当者から「施設設備を決めてから教育・保育方針を決定するよりも、まず、教育・保育方針を固めてから施設整備を進めることをお勧めする。そして、教育委員会との連携を考えているのであれば、早い段階から連携検討する事が大事」とのアドバイスを頂く。

北栄町 現在、公設公営の「保育所」1所と「認定子ども園」3園を運営。また、町内には、私立保育所が2所存在している。合併後、北栄町に就任した町長が、平成19年8月に「北栄町次世代育成支援行動計画」として「すこやかスマイルプラン」を策定し「北栄町の子ども全てが健やかにたくましく育ち、まち全体に子どもの笑顔が広がり、地域で暮らす人全てが「子育て」「子育て」を支えていくことのできる子どもの総合的な計画」を目標設定。平成21年、3月定例会において町長が「幼保一元化施設実現に向けて」意向表明。その後、町内の幼稚園と保育所を統合した「幼保連携型」1園と、2保育所を「保育所型」の合計3園の「認定子ども園」を平成24年4月に開所。「認定子ども園、保育・教育基本方針」をつくり、「家庭との連携・子育ての支援・小中学校との連携・地域・関係機関との連携」を掲げ、教育委員会が管轄。1カ月に1回「子ども園園長・小中学校校長・教育長・教育委員会・教育指導主事」が参加した会合を開催し、様々な議題について話し合い、その内容を教育長から5名の教育委員へ情報を伝え、教育委員からの意見を収集、認定子ども園の運営に対し円滑かつ濃密に反映させ、保育士・教諭の研修を年20回くらい開催し、保育者の質の向上に努め、多くの保育者が参加見学でき、意見を言えるような体制を作り、子ども園の充実を図っている。子ども園に併設している「子育て支援センター」では、園長が支援センター長を兼務し、正規の職員・臨時職員それぞれ1名配置、保健師や助産師の支援協力体制を整え、また、民間のファミリーサポートセンターにも委託、子育ての悩みや育児の応援、障害児教育にも県内外の専門機関との連携・情報共有している。そして、小中学校の先生が夏休み期間中、子ども園で研修・交流活動を通じて、中学校までの子どもの育みを見直し、共有した取り組み活動を実践している。今回、現地視察した幼保連携型の北条子ども園は、園児187名に対して、正職員13名、臨時職員28名、そして25名のパート職員、合計60名近くの職員体制環境を整えている。子ども園の施設では、余程の事情がない限り子ども達は原則裸足で、幼児心理学も踏まえた様々な施設設計をしている先進地である。

両町の視察研修を通して実感した事は、1年2ヵ月後の平成26年4月開所予定の「公設民営の認定子ども園」を目指した保育所統合に向けて、まず、由良町の子育て環境を見通した、「保育・教育方針・目標」を決める事が一番大切であると委員一同、痛感。その教育方針を決め、実現できるような体制づくりに取り組む事が早急な課題である。

平成26年4月開所予定の統合保育所に向けて
「視察研修後の産建厚生常任委員会、
各委員からの意見・提言」

一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は4名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。(文面はすべて質問者本人の原稿によるものです。)

過疎対策事業の現在までの実施状況並びに今後の見通しは

財源の許す限り積極的に取り組む



藤田 富三 議員

問 平成22年3月10日過疎地域自立促進特別措置法の改正案が成立し、同年4月1日に施行され、全国で58市町村が対象地域に追加、和歌山県では由良町を含め3町が新たに指定されました。この対策事業については、現在までの実施状況並びに今後の見通しは?

答 (町長) この法律は平成22年4月1日から施行され、議会でも協議を重ね平成22年9月議会において、平成22年度から27年度までの6年間の町の過疎地域促進計画を策定し議決をいたしました。現在まで、この法律に基づき各々の施策を展開しています。主なものは、ハード面では下水道事業、江の駒地内ほか町道の改良事業、衣奈漁港の海岸整備事業、消防車庫の整備事業、各小中学校の教育環境整備事業等です。ソフト事業では、子ども医療費の助成事業、高齢者健康対策事業、里山環境保全事業、スクールバスの運行委託事業等です。

平成25年度から27年度において計画している主な事業は、衣奈から三尾川間の町道の改良、阿戸地内ほか町道の改良、小引区的环境整備事業、統合保育所新築事業等です。ソフト面では引き続き子ども医療費の助成の実施、スクールバス運行委託事業などを実施していきたい。今後も計画の中身を精査した上で、財源の許す限り積極的に取り組んでいきたいと思うので、議員各位のご理解をお願いいたします。

いじめ問題は、どのように把握されていますか?

アンケート調査、秘密な観察、相談活動等により

問 町内の児童生徒のいじめ問題について、どのように把握されていますか?

答 (教育長) いじめ問題の把握については、全学校で全児童を対象にしたアンケート調査を実施し、いじめの認知や捉え方は以前に比べて相違がありますが、悪口、からかい、仲間はずれ、無視等の行為により小学校で7件、中学校で8件、合計15件の認知件数がありました。その後、いじめについて学級での作文、話し合い活動、個別指導、保護者への連絡等により、既に14件については解決済みです。

各学校では日常的に児童生徒の秘密な観察、相談活動、家庭との連携等を行いつつ、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努力してきているところで12月現在では、いじめの増加はありません。

南区からの風力発電事業についての要望書

客観的な考察のもとに意見書を提出



川出 純 議員

問 南区長から町長に、要望という事で署名を添えて提出いたしました。

内容は、里区内に計画されている風力発電事業についてであります。南区でもこの事業については、不安の声が高く、区内、町内の風力発電による健康被害、騒音被害の現状を考えた時、南区としては、日高池田ウインドシステムの風力発電建設には反対です。

また、この署名には3点の要望がされておりますが、その2点目には町内での風力発電による健康被害について調査されたいとなつております。この点でいいますと煙区内では、業者に対して10日間夜間風力の稼働を止めて騒音や低周波の測定や血圧測定など申し入れられておりますが、業者側からは県の指示があれば、検討するとの回答がありました。煙区では、風力に苦しんでいる方が確かにおられます。一度懇談会を開く事を強く求めます。



答 (町長) 11月27日に南区長ほか区役員の方々をはじめ区民127名の署名を添えて、要望書の提出がございました。

席上、里地内の風力発電に関しましては、当然、住民の意見、要望につきましては承りました。町といたしまして、客観的な考察のもとに意見書を提出したいというふうにご意見を伺ったところで、また、事業者の方で騒音、低周波測定を2カ所実施いたしております。地元から追加で測定をして欲しいという要望もありますが、今のところ要請する考えは、持っておりません。それと町の懇談会については、区長から申し入れがあれば、当然検討させていただきますというふうには考えています。

- (他の質問)
- 衣奈ヶ崎に防護壁を
 - 前田川改修及び衣奈隧道の進捗率はどの程度か
 - TPP問題をどのように見るか
 - 原発ゼロを目指す社会を
 - 年金問題と消費税

風力発電の騒音被害、低周波被害

町で止める権限はございません



由良 守生 議員

問 三尾川地区では、これまで風車による被害はないとされてきた。しかし別荘に住む人からの連絡で、低周波により、夜寝ていない、ゴーストが住んでいるような変な感じがして、「ノイライラス」という報告があった。

また、風のある日に三尾川へ行く、ゴーストという騒音が絶え間なく響いていた。地域の人も、「うるさくてかなわん」と被害のあることを伝えている。

和歌山市在住の汐見文隆医師と、風力発電の低周波について話した。風力発電が稼働することにより、1〜2ヘルツ周辺の低周波が、自然状態にはない高い数値を示している。測定中、数値は激しく変動しており、この空気振動が被害を起していることは明らかである。自然が壊された心臓を痛めている人がいる。今や、地域の住民のほとんどは、風力発電により、騒音や低周波、シャドーフリッカーがあることを知っている。多くの人々が苦しんでいる。早急な対応を求めたい。

答 (町長) 事業者の測定結果によると、稼働による増加というものはあまりない。同時に、一般的な生活環境におけるレベルとそう変わらない。因果関係というものは、極めて低いという調査結果が出ています。こういう因果関係がハッキリしないもの、それを事業者に停止を求めたいことについては、町の権限はございません。電気事業法に基づく停止ということになっておりますので、国が対応するのではないかと考えています。現在、煙区と事業者で協議を進めているところでございます。町といたしまして、これまでと同様に煙区と事業者のなかたちとして、よりよい解決策を探っていくたいと考えています。

また、自然は大事であります。これについては別途の法律、自然公園法等によって規制がされており森林については、開発する事業者があれば、森林法に基づいて、開発をさせていただきます。町として何らそれを止める根拠はございません。



国民健康保険と介護保険の今後は

適正医療と予防を積極的に推進

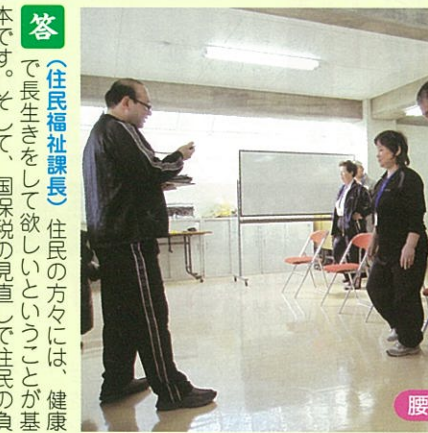


中村 森 議員

問 一昨年に、右肩上がりの医療費等で基金が底をつき、国保税の値上げをし、また、介護保険料についても本年度の見直しで基準月額5、690円と大きく値上げしています。

介護サービス環境については在宅、施設とも充実されてきており、利用者数も増え、予算規模も大きくなるのはある意味やむを得ない理解しますが、それにしては各家庭においては国保税や介護保険料が大きな負担になっているのは事実です。

このまま今の状況で推移していけばどうなるのでしょうか?「適正医療と予防、適正な介護サービス」について何か対策を考えているのかお答え願います。



腰痛予防教室

答 (民生福祉課長) 住民の方々には、健康で長生きをして欲しいということが基本です。そして、国保税の見直しで住民の負担が大きくなるよう少くとも医療費を下げるために、重複受診や時間外受診をしない、また、かかりつけ医やかかりつけ薬局を持つ、といったことを広報、ケーブルテレビ等で常に啓発をしていきます。

予防としては、検診による病気の早期発見、早期治療が一番重要と考えています。また、健康増進事業として健康相談や健康教室では糖尿病予防教室、骨粗しょう症予防教室、工クササイズ教室を実施しています。介護サービスにつきましては、その人に合った介護サービスを受けられるように、各ケアマネジャーに随時指導を行っています。

また、介護予防については、口腔ケア、腰痛予防等の教室や講演会を開催し予防に努めてまいります。啓発については、従来からのケーブルテレビや町広報誌だけでなく、老人招待旅行や地域サロンの場などで、先ほど申し上げた各種教室の参加の呼びかけをおこなっているところです。このような取り組みを積極的に推進することで、適正医療や適正な介護サービスに努め今後につなげていきます。

つれもていこら!

34

健康づくりは、おもしろい踊りだ!!

皆さん毎週第1・3の火曜日、夜7時30分から中央公民館でよさこい踊りの練習をやっています。いまのところ総勢20名程ですが、若いも若きも楽しく良い汗をかいています。男性も混じっていますよ!上手下手は関係なく、好きな人の集まりです。

チーム名は「舞★てんぐ」。

是非一度、みなさんつれもていこら!



●詳しい問い合わせは、吉田三恵まで
TEL 65-2516

人事

◎由良町教育委員会委員
任期満了に伴い、

山本 健志 氏
(里191番地の1)

佐津 弘晃 氏
(吹井187番地の2)

の選任に同意しました。

◎由良町人権擁護委員
任期満了に伴い、

宮本 豊 氏
(里188番地の1)

の推薦に同意しました。

編集後記

明けましておめでとうございます。成人の日は、日本各地で爆弾低気圧が襲来し大混乱をきたしました。

表紙の写真とタイトル「再興」は、一夜にして天狗が興国寺を再建した事と一昨年の東日本大震災や紀伊半島大水害の復興を願って構成しました。

我々議会もがんばりますので、議会に対してご意見の程を。

議会広報編集委員会

- 委員長 神田 勉
副委員長 吉田ひとみ
由良 守生
山名 実
中村 森
馬場 博文
玉置 一郎

成人式の写真は町役場一階ロビーにて、2月4日から15日まで展示します。